

令和3年度 江戸川区立南葛西中学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

<p>学校教育目標</p>	<p>人権尊重の精神を基に国際社会に貢献できる日本人の育成 1 学びつづける人 2 思いやりのある人 3 心身の健康に努力する人</p>	<p>目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像</p>	<p><学校像>・生徒の能力を高め資質の向上をめざす学校 ・入学させてよかったと保護者、地域から信頼される学校 ・教職員も資質の向上を常に心がけ、高め合い、組織的に協働できる学校 <生徒像>・南中プライドを常に胸にとどめ、規範意識のある生徒 ・将来に対するビジョンをきちんと描きそれに向かって努力できる生徒 ・人権意識をもち、他社を尊重できる生徒 <教師像>・学校としての組織力を高め、課題の克服に意欲的に取り組む教師 ・日常の授業を大切に</p>
<p>前年度までの学校経営上の成果と課題</p>	<p><成果>ICTアシスタントによる校内研修を計画的に実施し、ICTを活用した授業を教員が積極的に実践し授業力の向上と、生徒の学習意欲及び、学力向上に繋がった。スーパーバイザーや地域人材を活用し図書室整備を行い、来室生徒の増加、読書量の充実につながり、定期考査においても読解力の向上が図れた。 <課題>ICT機器のさらなる活用とタブレット端末を使用した、だれ一人取り残さずわかる授業を実践し学力向上のための授業改善を進める。特別支援教育の推進に向け巡回指導員、専門員、コーディネーターとの連携をより深めていく。</p>		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		来年度に向けた改善策	
					取組	成果	成果と課題	評価		コメント
いきいきと学ぶ学校づくり	確かな学力の向上	・「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上 ・「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	・習熟度別少人数授業(数英)の実施 ・放課後補習教室の実施とその充実 ・小中共通目標に沿った教育活動と情報交換を行う	・2月末実施の到達度テストにおいて、昨年度以上の結果 ・年間20回以上の実施 ・教員取組評価肯定回答80%以上	A	B	・少人数編成により手厚く授業を行い学習意欲が高まった ・定期考査前、学期末、夏季休業に実施した ・情報交換を行う機会を紙面開催し連携に取り組んだ	A	先生方の丁寧な対応に感謝している。今後も生徒のために学力向上に努めてほしい。	・定期考査などのデータの分析と指導の改善 ・学習意欲のさらなる向上 ・補充教室の学習内容の充実
	読書科の更なる充実	・読書を通じた探究的な学習の充実(読書科ノートの活用、資料の収集の仕方や記録の取り方の指導、自己の考えをまとめ表現する方法の指導、朝読書と1単位時間の授業との関連付け、他教科との関連等) ・学校図書館の整備、学校図書館を使った授業の充実	・読書科による活用…各学年5～10回 ・学年ごとにテーマを決めた探究的な学習活動の実施 ・スーパーバイザー、地域人材を活用した図書室整備	・活用量80%以上 ・学年ごとに行事と連携し、個人でテーマを決め取り組む ・年間3回実施	B	B	・各学期、各学年ごとに2～4回活用した ・学年ごとに行事と連携し、個人でテーマを決め取り組む ・実施に取り組んだ ・スーパーバイザーによる図書室整備を実施できた	A	本が丁寧に整理整頓されてお見やすい。図書委員会の生徒もとても頑張っているようでとても良い取り組みをしている。地域ボランティアとしても手助けしていきたい。	・学校図書館を教科でも利用する ・図書館を効果的に使っている、探究的な活動を充実させる ・区図書館職員と連携し整備を充実させる
	体力の向上	・体育の授業での補強運動や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	・新体力テストに向けた体育の授業及び部活動における補強運動の取り組み	新体力テストにおいて、全学年都の平均以上の成果を出す	B	B	・補強運動を行い向上に取り組む、レク部やダンス部を新設し運動意欲向上に取り組んだ	B	運動好きな生徒をどんどん育ててほしい。	・冬季の効果的な運動の取入れ ・部活動の充実
	オリパラ教育の推進	・「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組、「学校2020レガシー」の設定やオリパラコーナーの充実	・選手の活躍を掲示し、オリパラコーナーをの更なる充実 ・オリパラ関連授業35時間の実施	・選手の活躍を視聴し、自己の活動に意欲をもち、オリンピックレガシーを創造させる	A	B	・東京2020の結果をオリパラコーナーに掲示し、取り組んだ ・関連授業に計画的に取り組めた	A	玄関のオリパラコーナーが充実している。講演会の実施を期待している。	・オリパラレガシー講演会の実施
	外国語教育の推進	・授業力の向上とALTの効果的な活用	・ALTを活用した会話ながら英語を身につける授業実践	・授業評価において、「授業がよくわかる」「どちらかといえばよくわかる」の生徒を80%以上とする	B	B	・ALTを活用し、英語への興味関心を高め会話する力を高めた ・タブレットを効果的に使用し向上を図ることができた	B	多くの生徒が授業を「面白い」と捉えているので継続して取り組んでほしい。	・授業力の向上を目指し、ALT、タブレットを効率よく活用し、生徒の学力を向上させる
	健全育成に向けた取組の強化	・いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 ・チルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用	・SNS学年ルールの取り組み ・南中プライドの自覚をもたせ挨拶や朗らかな気質、規範意識をもつ生徒の育成を行う ・不登校生徒への適切な対応を行う	・SNSによるトラブル0を目指す ・全生徒が教職員、生徒、地域外部の方への挨拶の徹底 ・不登校生徒の定期的な家庭訪問の実施	B	B	・生徒会を中心にSNS学校ルールについて考えさせ取り組んだ ・地域への挨拶の機会がほとんどないが、生徒は意識して挨拶を行った	B	様々な生徒がいろいろな悩みを抱えている。一人一人丁寧に接して、引き続き対応してほしい。	・定期的な調査を実施し、いじめについて発見後は早急に対応する ・不登校生徒の支援と登校復帰への着実な実施
特別支援教育の充実	特別支援教育の推進	・校内委員会の活性化を図ることによる指導・支援の充実 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の充実	・特別支援委員会隔週1回の実施 ・情報共有し、全教員で取り組む ・SCによる研修会の実施、SSと連携した活用の充実 ・臨海青海特別支援学校との交流	・不登校生徒、学校不適応生徒3%以下 ・各学期に1回の交流の実施	B	B	・定期的に特別支援委員会を実施し生徒への支援や関り協議し取り組んだ ・SCやSSと連携をとり、取り組んだ ・支援学校と打合せを行い、放課後に交流を3回実施できた	B	丁寧な指導が継続して行われている。SCやSSが充実した取り組みを行っているので、次年度も続けてほしい。交流も広がりを見せてほしい。	・不登校への支援と支援生徒の充実感を聞き取り、改善に向け取り組む ・エンカレッジルームの整備 ・副籍交流の内容の検討とその充実
教員の資質向上	教員研修の充実	・学習用タブレットを活用した授業実施に向けた研修 ・研究授業や相互に授業を観合う研修会の実施	・タブレット活用に関する研修会を実施し、職員会議では実践例を報告し合う。 ・学年ごとに授業公開する時期を定め、相互に観合い意見交換、指導助言を行う。	・年間3回以上、職員会では毎回報告を実施 ・各学年ごと年3回実施	A	A	・タブレット活用の研修会を2回実施し理解を深め、授業に活かしている ・学年ごとの授業公開期間を3回実施した	A	タブレットやICT機器をしっかり取り入れ実践していると感じる。今後も時代に合った指導をどんどん取り入れ、生徒の学習意欲を高めてほしい。	・研修会の充実 ・職員会議での報告を充実させる
	特色ある教育の展開	持続可能な社会の担い手を育む実践の推進	・持続可能な社会の担い手を育むため、教科等横断的な視点に立った実践の推進	・SDGsへの取り組みを中心とした、研修とその実践	B	B	・教員への研修会を実施し、10月にはSDGs月間を実施した	B	江戸川区全体として取り組んでいる。南葛西中としても充実してほしい。	・SDGsについての学習を計画的に実施し、生徒への意識を高めた充実した取り組みを行う